

Ⅲ－５ 介護支援専門員実務研修受講試験並びに実務研修・ 現任研修等事業報告

１．介護支援専門員実務研修受講試験の実施

- (1) 試験日時 平成22年10月24日(日) 午前10時から12時まで
 (2) 試験実施会場 秋田ノースアジア大学、秋田県立大学本荘キャンパス
 (3) 試験実施結果 受験者数 1,816名 合格者 288名(合格率15.9%)

平成17年度から平成22年度までの合格者及びその内訳は次のようになっている。

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
受験者総数(人)	1,563	1,613	1,719	1,757	1,834	1,816
合格者(人)	348	325	350	347	388	288
合格率(%)	22.3	20.1	20.4	19.7	21.2	15.9
全国平均(%)	(25.6)	(20.5)	(22.8)	(21.8)	(23.6)	(20.5)

合格者累計 5,223人

①職種別				
	19年	20年度	21年度	22年度
医師	0	0	0	0
歯科医師	0	1	0	0
薬剤師	2	0	2	0
保健師	6	5	2	3
助産師	0	2	1	0
看護師	34	30	28	12
准看護師	12	8	9	2
理学療法士	1	3	2	0
作業療法士	3	1	8	3
社会福祉士	13	13	12	12
介護福祉士	245	251	279	233
視能訓練士	0	0	0	0
義肢装具士	0	0	0	0
歯科衛生士	6	7	2	2
言語聴覚士	0	0	0	0
あん摩マッサージ指圧師 はり師・きゅう師	0	1	3	0
柔道整復師	0	0	0	0
栄養士 (管理栄養士を含む)	3	2	3	4
精神保健福祉士	2	2	5	3
相談援助業務	14	12	15	9
介護等業務	9	9	17	5
計	350	347	388	288

(人)

②地域別(勤務先による)				
	19年	20年	21年	22年
県北	90	88	99	72
中央	151	147	163	129
県南	109	112	126	87
計	350	347	388	288

(人)

③性別				
	19年	20年	21年	22年
男性	90	85	103	80
女性	260	262	285	208
計	350	347	388	288

(人)

④年代別				
	19年	20年	21年	22年
20代	79	101	88	59
30代	119	109	149	100
40代	99	83	89	77
50代	47	49	56	46
60代	6	5	6	6
70代	0	0	0	0
計	350	347	388	288

(人)

2. 介護支援専門員実務研修の実施

(1) 実務研修の目的

介護保険制度の適切かつ円滑な運営に資するため、必要な知識、技能を有する介護支援専門員の養成を図ることを目的として実施した。

(2) 実施主体

秋田県知事が指定した財団法人秋田県長寿社会振興財団

(3) 受講対象者（315名）

平成22年度（第13回）介護支援専門員実務研修受講試験合格者（288名）

平成21年度（第12回）試験合格者のうち延期願が提出されていたもの（27名）

(4) 研修期間、回数、期日等

	期 間	組	期 日	会 場
前期研修	3日間	1組	平成22年7月 8日（木）～ 10日（土）	中央シルバーエリア
		2組	平成23年1月 7日（金）～ 9日（日）	
		3組	平成23年1月12日（水）～ 14日（金）	
		4組	平成23年1月21日（金）～ 23日（日）	
後期研修	4日間	1組	平成22年8月19日（木）～ 22日（日）	中央シルバーエリア ※3月21日、26日は、どちらかの希望日に受講。会場は、秋田テルサ
		2組	平成23年2月10日（木）～ 13日（日）	
		3組	平成23年2月23日（水）～ 26日（土）	
		4組	平成23年3月 4日（金）～ 5日（土） 11日（金） 21日（月）、26日（土）	

※4組目の後期研修は、3月12日（土）も予定していたが、東日本太平洋沖地震により、21日（月）、26日（土）へ振り替えて実施した。

(5) 研修内容

前期3日、後期4日の計45時間の研修を実施。

前期研修と後期研修の間に、要介護認定のための訪問調査や課題分析・居宅サービス計画原案作成について実習を行った。

〔実務研修の主な内容〕

- ① 介護保険制度の基本理念、介護支援専門員の基本姿勢等
- ② 介護支援サービスの基本、基礎技術・展開技術、要介護認定等の基礎
- ③ 対人援助技術、課題分析・居宅サービス計画に関する専門的知識及び技術
- ④ 地域包括支援センターの概要、介護予防給付マネジメント

(6) 講 師

介護支援専門員指導者及び県内ケアマネジメントリーダー並びに主任介護支援専門員等・県担当者

(7) 修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者に対し、修了証明書が交付された。（304名）

秋田県内では、この13年間で5,213名が実務研修を修了している。

1組 7/ 8～10
 2組 1/ 7～ 9
 3組 1/12～14
 4組 1/21～23

平成22年度 秋田県介護支援専門員実務研修 **前期** 研修日程

9:30		10:00		10:15		12:15		13:15		15:15		17:15	
1 日 目	受付	オリエンテーション 開講挨拶	介護保険制度の理念と介護支援専門 (講義)	昼食 休憩	介護支援サービスの基本 (ケアマネジメントの基本) (講義)	要介護認定等の基礎 (講義)		【介護支援専門員指導者等】		【介護支援専門員指導者等】			
			【県担当者・介護支援専門員指導者等】		【介護支援専門員指導者等】								
9:30		10:30		12:30		13:30				17:30			
2 日 目	受付及び相談と契約 (講義)	アセスメント、ニーズの把握方法 (講義)		昼食 休憩	アセスメント、ニーズの把握方法 (演習)		【介護支援専門員指導者等】						
		【介護支援専門員指導者等】											
9:30		11:30		12:30		13:30		16:30		17:30			
3 日 目	居宅サービス計画等の作成 (講義)		居宅サービス計画等の作成 (演習)		昼食 休憩	居宅サービス計画等の作成 (演習)		【介護支援専門員指導者等】		実習オリエンテーション			
	【介護支援専門員指導者等】		【介護支援専門員指導者等】										

平成22年度 秋田県介護支援専門員実務研修 後期 研修日

1組 8/19～22
 2組 2/10～13
 3組 2/23～26
 4組 3/4～5、11～12

9:00		9:30		11:30		12:30		16:30	
1 日 目	受付	地域包括支援センターの概要 (講義) 【介護予防支援指導者修了者】		昼食 休憩	相談面接技術の理解 (講義) 【学識経験者等】				
9:30		12:30		13:30		17:30			
2 日 目	介護予防支援 (ケアマネジメント) (講義) 【介護予防支援指導者修了者】			昼食 休憩	介護予防支援 (ケアマネジメント) (演習) 【介護予防支援指導者修了者】				
9:30		12:30		13:30		16:30			
3 日 目	アセスメント、居宅サービス計画作成演習 【介護支援専門員指導者等】			昼食 休憩	アセスメント、 居宅サービス計画作成演習 【介護支援専門員指導者等】				
9:30		12:30		13:30		15:30		16:30	
4 日 目	チームアプローチ演習 (演習) 【介護支援専門員指導者等】			昼食 休憩	モニタリングの方法 (講義) 【介護支援専門員指導者等】		意見交換 講 評	修了式 修了証明書交付 閉講挨拶	

3. 介護支援専門員研修（実務従事者基礎研修、専門研修、更新研修、再研修）の実施

●介護支援専門員実務従事者基礎研修

(1) 目的

介護支援専門員として一定の実務を経験した後に、実務従事者として必要な技術・技能の研鑽を図ることで、介護支援専門員の実務能力の向上を図ることを目的として実施した。

(2) 実施主催

財団法人秋田県長寿社会振興財団（LL財団）

(3) 対象者

介護支援専門員としての実務に携わっている者で実務就業後1年未満の方全員。

(4) 研修期日・会場

実務従事者基礎研修(4日間)

地区別	組	期日	会場	受講者数
全県対象	1組	平成22年7月14日(水) 7月15日(木) 7月16日(金) 7月17日(土)	中央シルバーエリア	107名
	2組	平成22年9月21日(火) 9月22日(水) 9月23日(木) 9月24日(金)	中央シルバーエリア	63名

(5) 研修内容

研修内容		研修目的
第1日目	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	机上の実務研修内容を就業後の実践に照らして確認することにより重要な倫理を会得する。
	対人援助技術	利用者の権利擁護の視点に立ち、自立支援を図る上で必要なアセスメントを行うための相談面接技術の向上を図る。
第2日目	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	ケアマネジメントの各プロセスの担う役割、目的を再確認するとともに重要性を理解する。また、各自の実践を省みることにより問題点・課題を認識する。
	ケアマネジメント点検演習	自ら担当している事例を持ち寄り、アセスメントの手法や策定したケアプランについて点検し、問題点・課題を明確にして改善方策を見出す。

第3日目	ケアマネジメント点検演習	自ら担当している事例のアセスメントの手法や策定したケアプランについて点検し、問題点・課題を明確にして改善方策を見出す。
第4日目	ケアマネジメント演習講評	演習の結果を踏まえ今後の改善点を考察する。
	研修を振り返っての意見交換、ネットワーク作り	ケアマネジメントの原則に沿った実践を行うための決意を醸成する。

(6) 指導講師

介護支援専門員指導者、主任介護支援専門員、ケアマネジメントリーダー等

(7) 受講者数

1組 107名 (修了者106名に修了証明書を交付)

2組 63名 (修了者63名に修了証明書を交付)

●介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅰ・専門研修課程Ⅱ)並びに介護支援専門員更新研修(実務経験者(前期・後期)、実務未経験者)及び介護支援専門員再研修

◆介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅰ・専門研修課程Ⅱ)

介護支援専門員更新研修(実務経験者(前期・後期))

(1) 目的

(専門研修)

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識、技能の習得を図ることにより、その専門性を高め、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的として実施した。

(更新研修)

介護支援専門員証に有効期限が付され、更新時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な知識及び技術の向上を図り、能力の保持を図ることを目的として実施した。

(2) 実施主催

財団法人秋田県長寿社会振興財団(LL財団)

(3) 対象者

(専門研修)

専門研修課程Ⅰ 原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6ヶ月以上の方

専門研修課程Ⅱ 原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後3年以上の方

(更新研修)

① 研修対象者は、介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事した者又は従事していた経験を有する者(以下「実務経験者」という)で、介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了する者。なお、介護支援専門員としての経験の多寡は問わない。

- ② 専門研修課程Ⅰ及びⅡと同様の内容で構成され、必修課目と選択課目を合わせ、計53時間実施される。

ただし、平成15年度から17年度の介護支援専門員現任研修基礎研修課程（「基礎研修」という）Ⅰ又はⅡを修了している方（みなし修了該当者）若しくは、平成18年度以降の専門研修課程Ⅰを修了している方については、更新研修前期を修了しているものとみなされるので、専門研修Ⅱに相当する研修課目のみ（計20時間）受講することとなる。

（４）研修期日・会場

専門研修課程Ⅰ・更新研修前期（6日間）

	組	期 日	会 場	受講者数	
				専門	更新
全県対象	1組	平成22年 6月10日（木）～12日（土） 6月22日（火）～24日（木）	中央シルバー エリア	87名	32名
	2組	平成22年 8月25日（水）～27日（金） 9月16日（木）～18日（土）	中央シルバー エリア	64名	16名

専門研修課程Ⅱ・更新研修後期（3日間）

	組	期 日	会 場	受講者数	
				専門	更新
全県対象	1組	平成22年 6月18日（金）～20日（日）	中央シルバー エリア	109名	15名
	2組	平成22年 9月 8日（水）～10日（金）	中央シルバー エリア	112名	33名

（５）研修内容

◆専門研修課程Ⅰ・更新研修前期

研修内容		研修事項
第1日目	介護保険制度論	介護保険制度に対する理解・認識を深める。
	ケアマネジメントとそれを担う 介護支援専門員の倫理	実際の業務に照らして確認することにより 重要な倫理を会得する。
	ケアマネジメントのプロセスと その基本的考え方	ケアマネジメントの各プロセスの担う役割、 目的を再認識するとともに重要性を理解する。 また、各自の実践を省みることにより問題点・ 改善点を認識して改善方策を導き出す。

第2日目	対人個別援助技術 ソーシャルケースワーク（講義）	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。
	対人個別援助技術 ソーシャルケースワーク（演習）	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。
第3日目	対人個別援助技術 ソーシャルケースワーク（演習）	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。

選択科目①～④（これらの中から3つ以上選択する）

研修内容		研修事項
第3日目	選択科目① サービスの活用と連携 「訪問介護・訪問入浴」	自立支援を目的とする予防給付及び介護給付サービスにおける内容を再認識し、特色や実態を把握する。
第4日目	選択科目② サービスの活用と連携 「介護保険施設・認知症対応型共同生活介護・特定施設入居者生活介護」	サービス内容を再確認するとともに、自立支援に即した適正なサービスの活用方法と連携の方法を学ぶ。
	選択科目③ サービスの活用と連携 「訪問看護・訪問リハビリテーション」	自立支援を目的とする予防給付及び介護給付サービスにおける内容を再認識し、特色や実態を把握する。
第5日目	選択科目④ サービスの活用と連携 「通所介護・通所リハビリテーション」	サービス内容を再確認するとともに、自立支援に即した適正なサービスの活用方法と連携の方法を学ぶ。

必修科目（すべて受講しなければならない）

研修内容		研修事項
第5日目	必修科目 保健医療福祉の基礎理解 「社会資源活用」	要介護高齢者が活用しうる社会資源や、関係機関等との連携方策を学ぶ。
第6日目	必修科目 保健医療福祉の基礎理解 「人格の尊重及び権利擁護」	権利擁護を担う介護支援専門員の基本姿勢を確認するとともに、高齢者の権利擁護策について認識を深める。
	必修科目 保健医療福祉の基礎理解 「高齢者の疾病と対処及び主治医との連携」	認知症高齢者や精神疾患を持つ人への対処方法を学ぶ。要介護高齢者の疾病の特徴とその対処法（治療・介護）、医療関係者との連携方法を学ぶ。

◆専門研修課程Ⅱ・更新研修後期

研修内容		研修事項
1 日 目	介護支援専門員の課題① 「事例発表」	介護支援専門員の課題として、3つのテーマに沿った事例を通じて、同じようなケースでありながら、なぜ、上手くいったり、困難事例になったりするの か。このような違いがなぜ生まれるのかを考える。
	介護支援専門員の課題② 「パネル ディスカッション」	介護支援専門員の課題として、3つのテーマに沿った事例を通じて、同じようなケースでありながら、なぜ、上手くいったり、困難事例になったりするの か。このような違いがなぜ生まれるのかを考える。
	サービス担当者会議演習	サービス担当者会議の運営方法、職種間の連携方法に習熟する。
2 日 目	「居宅介護支援」 事例研究	自立支援、利用者本位の観点に基づく居宅サービス計画作成の視点・方法を学ぶ。
	「施設介護支援」 事例研究	自立支援、利用者本位の観点に基づく施設サービス計画作成の視点・方法を学ぶ。
3 日 目	「居宅介護支援」演習	作成した居宅サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換しながら、支援困難事例を含む多様なケースを課題分析し居宅サービス計画の作成に習熟する。モニタリング、再アセスメント、居宅サービス計画変更の課程を学ぶ。サービス担当者会議におけるサービス事業者などとの連携方法を学ぶ。
	「施設介護支援」演習	作成した施設サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換しながら、生活の質の向上及び継続性、在宅復帰の可能性等の施設特有の課題分析と施設サービス計画の作成に習熟する。モニタリング、再アセスメント、施設サービス計画変更の過程を学ぶ。施設における職種間の連携方法、施設外の資源の活用と連携方法を学ぶ。グループ事例検討の方法を学ぶ。

(6) 指導講師

①専門研修課程Ⅰ・更新研修前期

県担当者、県介護支援専門員連絡協議会、県医師会、県訪問看護協会、県ホームヘルパー協議会、県社会福祉士会等

②専門研修課程Ⅱ・更新研修後期

県介護支援専門員連絡協議会、主任介護支援専門員、ケアマネジメントリーダー等

(7) 受講者数

①専門研修課程Ⅰ・更新研修前期

1組 87名(修了者84名)・32名(修了者32名)
2組 64名(修了者67名)・16名(修了者16名)

②専門研修課程Ⅱ・更新研修後期

1組 109名(修了者105名)・15名(修了者15名)
2組 112名(修了者113名)・33名(修了者33名)

◆介護支援専門員更新研修（実務未経験）・介護支援専門員再研修

（１）目的

（更新研修）

介護支援専門員証に有効期限が付され、更新時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な知識及び技術の向上を図り、能力の保持を図ることを目的として実施した。

（再研修）

介護支援専門員として実務についていない者又は実務から離れている者が実務に就く際に、介護支援専門員としての必要な知識、技能の再修得を図ることを目的として実施した。

（２）実施主催

財団法人秋田県長寿社会振興財団（L L財団）

（３）対象者

（更新研修）

研修対象者は、介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事した経験を有しない者（以下「実務未経験者」という）で、介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了するもの。ただし、有効期間満了日後も実務に就く予定のない等で更新を希望されない方は、更新研修を受講する必要はない。）

なお、有効期間満了日までに更新研修を修了されていない場合でも、再研修を受講し、新たに介護支援専門員証の交付を受けることにより、実務に就くことができる。

- ①介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事した経験を有しない者（以下「実務未経験者」という）
- ②介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している者又は従事していた経験を有する者（以下「実務経験者」という）

（再研修）

介護支援専門員として都道府県の登録を受けた者であり、登録後5年以上実務に従事したことがない者又は実務経験はあるがその後5年以上実務に従事していない者で、今後、新たに介護支援専門員証の交付を受けようとする者とする。

また、介護支援専門員実務研修修了後、相当の期間を経過した者及び介護支援専門員証の有効期間が切れた者についても、本研修の対象者とする。

（４）研修期日・会場

	期 間	組	期 日	会 場
前期研修	3日間	1組	平成22年7月8日（木）～10日（土）	中央シルバーエリア
		2組	平成23年1月7日（金）～9日（日）	
		3組	平成23年1月12日（水）～14日（金）	
後期研修	4日間	1組	平成22年8月19日（木）～22日（日）	中央シルバーエリア
		2組	平成23年2月10日（木）～13日（日）	
		3組	平成23年2月23日（水）～26日（土）	

(5) 研修内容

前期3日、後期4日の計45時間の研修を実施。

前期研修と後期研修の間に、要介護認定のための訪問調査や課題分析・居宅サービス計画原案作成について実習を行った。

[更新研修の主な内容]

- ① 介護保険制度の基本理念、介護支援専門員の基本姿勢等
- ② 介護支援サービスの基本、基礎技術・展開技術、要介護認定等の基礎
- ③ 対人援助技術、課題分析・居宅サービス計画に関する専門的知識及び技術
- ④ 地域包括支援センターの概要、介護予防給付マネジメント

(6) 指導講師

介護支援専門員指導者及び県内ケアマネジメントリーダー並びに主任介護支援専門員等・県担当者

(7) 受講者数

更新研修・再研修

1組 72名・26名

2組 20名・3名

3組 7名

4. 主任介護支援専門員研修の実施

(1) 目的

介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を習得することを目的として実施した。

(2) 実施主体 秋田県

(3) 運営主体 財団法人秋田県長寿社会振興財団（LL財団）

(4) 対象者

介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有し、秋田県内において現に実務に従事している介護支援専門員のうち主任介護支援専門員に求められる役割を自覚し、その業務に関する十分な知識と経験を有する者であって、所属長の推薦を受けた等、指導的立場にある者。

受講申込時点で、以下①から④のいずれかに該当し、かつ「介護支援専門員専門研修実施要綱」に基づく専門研修課程Ⅰ及び専門研修課程Ⅱ又は「介護支援専門員更新研修実施要綱」に基づく実務経験者に対する介護支援専門員更新研修を修了した者とする。

- ① 専任の介護支援専門員として従事した期間が通算して5年（60ヶ月）以上である者（ただし、管理者との兼務は期間として算定できるものとする。）
- ② 「ケアマネジメントリーダー活動支援事業実施及び推進について」に基づくケアマネジメントリーダー養成研修を修了したもの、又は日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャーであって、専任の介護支援専門員として従事した期間が通算して3年（36ヶ月）以上である者（ただし、管理者との兼務は期間として算定できるものとする。）
- ③ 介護保険法施行規則第140条の66に規定する主任介護支援専門員に準ずる者として、現に地域包括支援センターに配置されている者。

④ その他、介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有する者であり、秋田県が適当と認める者。

ア) 県の介護支援専門員に係る研修会（介護支援専門員実務従事者基礎研修、介護支援専門員専門研修、介護支援専門員再研修、介護支援専門員更新研修、主任介護支援専門員研修）で講師としての協力実績がある等、指導的立場にある者。

イ) 地域包括支援センターに介護支援専門員として従事し、現在、配置されている主任介護支援専門員が退職予定であるなどにより、時期の主任介護支援専門員として、配置が予定され（③に該当する者とする）、かつ地域包括支援センター長により証明された者。

(5) 研修期日・会場

主任介護支援専門員研修(10日間)

	期 日	会 場	受講者数
全県対象	平成22年	中央シルバーエリア	72名
	10月 2日(土)～ 3日(日)		
	29日(金)～30日(土)		
	11月 8日(月)～10日(水)		
	25日(木)～27日(土)		

(6) 研修内容

研 修 内 容		研 修 事 項
1 日 目	主任介護支援専門員の役割と視点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括支援センターにおける主任介護支援専門員の役割 ○ 居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員の役割 ○ 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築 ○ 地域ケアマネジメント力の向上支援方策、関係機関とのネットワークの構築手法 ○ 地域における総合的なケアマネジメントの実施、調整手法 ○ 地域の介護支援専門員実態把握の手法 ○ 勉強会、技術向上を目指した「場づくり」の支援方策
2 日 目	地域援助技術 (コミュニティーソーシャルワーク)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 概念、機能及び目的、展開技法 ○ 主任介護支援専門員とコミュニティワーク ○ 解決困難な問題事例等を用いて、地域診断と不足するフォーマルサービス、インフォーマルサービスの開発普及
3 日 目	ケアマネジメントと介護支援専門員の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者主体、自立支援、公正中立、権利擁護、守秘義務、利用者ニーズの代弁等
	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者が起こしやすい事故の内容 ○ 事例をふまえた苦情対応 ○ サービス事業者に求められるリスクマネジメントの目的と内容 ○ マニュアルの作成方法 ○ リスクマネジメントのケアプランの関係、反映手法

4 日 目	人事・経営管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営管理の基礎理論 ○ 経営戦略・マーケティングの手法 ○ 財務管理・経営計画の作り方 ○ 業務管理・目標管理の導入方法 ○ 業務評価制度と人事考課 ○ 雇用管理。労使関係の課題と現況 ○ 人材育成のための研修計画
	ターミナルケア	<ul style="list-style-type: none"> ○ ターミナルケアの基本理解 ○ ターミナルケアの課題(居宅・施設) ○ 利用者家族への支援方法 ○ 疾病の病態理解
5 日 目	事例研究及び 事例指導方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事例を用いた指導手法のポイント ○ 指導における留意点 ○ 実際に指導する立場に立って相互に評価する ○ 講師の助言を得ながら、指導方法の向上を図る。
6 日 目		
7 日 目		
8 日 目	対人援助者監督 指導 (スーパー ビジョン)	<ul style="list-style-type: none"> ○ スーパービジョンの内容と方法 ○ 介護支援専門員に対する適切な指導方法 ○ 個人スーパービジョンとグループスーパービジョンの具体的な技法の理解と向上
9 日 目		
10 日 目		

(7) 指導講師

主任介護支援専門員、学識経験者等

- | | | | |
|-----------------------|-----|------|---|
| ○日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 | 助 教 | 菱沼幹男 | 氏 |
| ○日本赤十字秋田短期大学看護学科 | 准教授 | 中村順子 | 氏 |
| ○特定非営利活動法人ふくし@JMI | 理事長 | 小湊純一 | 氏 |

(8) 受講者数

72名（修了者72名に修了証明書を交付）

5. 主任介護支援専門員フォローアップ研修（自主事業）の実施

主任介護支援専門員研修の修了者を対象にスキルアップのためにフォローアップ研修を実施した。

(1) 研修期日・会場 平成22年10月4日（月） 中央シルバーエリア

(2) 講師 菱沼幹男 氏
日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 助教
NPO法人日本地域福祉研究所 理事・研究員

(3) 研修内容

テーマ 「主任介護支援専門員とコミュニティソーシャルワーク」

主任介護支援専門員が期待されている役割として、地域における自立生活支援をめざすには、どのようなスキルが必要なのか。また、地域の関係作りを支援するためにはどのような関わり方ができるのかを考える。

(4) 受講者数 124名

6. 介護支援専門員研修委員会の設置・運営

介護保険制度の要として位置づけられる介護支援専門員について、介護現場において期待される役割を十分に果たすことができるよう、その支援方策、研修の進め方等について協議し、ケアマネジメントの質の向上及び地域ケア体制の構築の支援を図るため、6名の委員からなる秋田県介護支援専門員研修委員会（以下「委員会」という。）を設置し、介護支援専門員実務研修・現任研修等のカリキュラムの企画検討、研修事業のあり方等、当該事業全般のあり方及び方向性等の検討を行った。

介護支援専門員研修委員会

- 委員名簿 別紙 6名
委員長 佐藤哲彦 氏（特別養護老人ホーム偕生園 施設長）
副委員長 赤平京子 氏（湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長）

●委員会開催状況

・平成22年5月8日（土）

内 容 ○平成22年度の研修体系と進め方について

○介護支援専門員実務従事者基礎研修の内容について

○介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・Ⅱ及び更新研修（実務経験者）の研修内容について

○介護支援専門員更新研修（実務未経験）の研修内容について

○主任介護支援専門員研修の内容について

○主任介護支援専門員フォローアップ研修について

・平成23年1月8日（土）

内 容 ○今年度の合格者及び研修実績状況

○居宅サービス計画書作成の手引きについて

○介護支援専門員実務研修後期研修の演習シートについて

○研修委員について

秋田県介護支援専門員研修委員会委員名簿

(任期) 平成21年4月1日～平成23年3月31日

No.	氏名	勤務先・所属名	職名
1	◎佐藤哲彦	特別養護老人ホーム 偕生園 県介護支援専門員協会	施設長 副会長
2	福本雅治	東恵園地域生活支援センター 県介護支援専門員協会	センター長 会長
3	米川 譲	特別養護老人ホームよねしろ	施設長
4	石川佐智子	(株) ぽぽろコンサルティング	代表取締役
5	○赤平京子	湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡	施設長
6	佐々木生久夫	羽後町高瀬ケアセンター 県介護支援専門員協会	参事 副会長

◎委員長、○副委員長 (順不同、敬称省略)
(勤務先・所属名、職名は平成23年3月末現在のものです)

7. これまでの課題と今後の方針

介護支援専門員研修の講師陣は、厚生労働省の指導者養成研修を受講したリーダーの方々を中心に構成しているが、平成10年度からの講師がほとんどであり、演習指導も併せて、講師の方々に過分のご負担をかけている状況である。

また、研修のカリキュラムの内容については、厚生労働省の要綱に基づいて研修委員会で内容を検討し研修を組み立てているが、県内外情勢を踏まえ、質の向上を目指すよう、内容の充実を図ることとしている。

このため、23年度は、リーダーとなる講師の養成等を行い、多様な講師スタッフを準備する方向で検討する予定である。

また、更新制度の経過措置が終了し、単年度の更新対象者となるため、計画的な研修受講機会の確保が課題となるので、更新時の受講対象者に対し、周知徹底を図ることとする。

平成22年度介護支援専門員実務研修演習指導講師一覧

1 組目 中央シルバーエリア (多目的ホール) 17グループ	
前期研修 平成22年7月 9日(金)～10日(土)	後期研修 平成22年8月21日(土)
2日目 7月 9日(金) (10:30～17:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、ニーズの方法」 3日目 7月10日(土) (9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「居宅サービス計画等の作成」	3日目 8月21日(土) (9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、居宅サービス計画等作成演習」
演習指導者リーダー：特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 氏	
能代山本医師会病院居宅介護支援事業所 管理者 袴田 光樹 氏	能代山本医師会病院居宅介護支援事業所 管理者 袴田 光樹 氏
横手市サンハイム母子生活支援施設 総務係長 綿貫 哲 氏	横手市サンハイム母子生活支援施設 総務係長 綿貫 哲 氏
北秋田市社会福祉協議会あいかわ地域福祉センター 所長 松橋 恵子 氏	北秋田市社会福祉協議会あいかわ地域福祉センター 所長 松橋 恵子 氏
中通訪問看護ステーション 管理者 鎌田 百合子 氏	中通訪問看護ステーション 管理者 鎌田 百合子 氏
やすらぎの郷 施設長 武田 喜代子 氏	やすらぎの郷 施設長 武田 喜代子 氏
2 組目 中央シルバーエリア (多目的ホール) 19グループ	
前期研修 平成23年1月8日(土)～9日(日)	後期研修 平成23年2月12日(土)
2日目 1月8日(土) (10:30～17:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、ニーズの方法」 3日目 1月9日(日) (9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「居宅サービス計画等の作成」	3日目 2月12日(土) (9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、居宅サービス計画等作成演習」
演習指導者リーダー：特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤 哲彦 氏	
湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平 京子 氏	湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平 京子 氏
(株)ぽぽろコンサルティング 代表取締役 石川 佐智子 氏	(株)ぽぽろコンサルティング 代表取締役 石川 佐智子 氏
秋田県厚生連農業協同組合連合会 あきた指定居宅介護支援事業所 管理者 小松 きよ子 氏	秋田県厚生連農業協同組合連合会 あきた指定居宅介護支援事業所 管理者 小松 きよ子 氏
羽後町高瀬ケアセンター 参事 佐々木 生久夫 氏	羽後町高瀬ケアセンター 参事 佐々木 生久夫 氏
特別養護老人ホームよねしろ 施設長 米川 譲 氏	特別養護老人ホームよねしろ 施設長 米川 譲 氏
(有)よろ津や 取締役副社長 佐藤 俊一 氏	(有)よろ津や 取締役副社長 佐藤 俊一 氏
3 組目 中央シルバーエリア (多目的ホール) 17グループ	
前期研修 平成23年1月13日(木)～14日(金)	後期研修 平成23年2月25日(金)
2日目 1月13日(木) (10:30～17:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、ニーズの方法」 3日目 1月14日(金) (9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「居宅サービス計画等の作成」	3日目 2月25日(金) (9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、居宅サービス計画等作成演習」
演習指導者リーダー：(株)ぽぽろコンサルティング 代表取締役 石川 佐智子 氏	
湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長補佐 阿部 透 氏	湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長補佐 阿部 透 氏
介護老人保健施設なぎさ 相談員 関谷 重昭 氏	介護老人保健施設なぎさ 相談員 関谷 重昭 氏
居宅介護支援事業所おおたき 管理者 伊藤 政利 氏	居宅介護支援事業所おおたき 管理者 伊藤 政利 氏
医療法人玉木歯科医院旭南居宅介護支援センター 管理者 川浪 妙子 氏	医療法人玉木歯科医院旭南居宅介護支援センター 管理者 川浪 妙子 氏
やすらぎの郷 施設長 武田 喜代子 氏	やすらぎの郷 施設長 武田 喜代子 氏
4 組目 中央シルバーエリア (多目的ホール) 16グループ	
前期研修 平成23年1月22日(土)～23日(日)	後期研修 平成23年3月11日(金)
2日目 1月22日(土) (10:30～17:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、ニーズの方法」 3日目 1月23日(日) (9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「居宅サービス計画等の作成」	3日目 3月11日(金) (9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、居宅サービス計画等作成演習」
演習指導者リーダー：湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平 京子 氏	
羽後町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木 尚敏 氏	羽後町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木 尚敏 氏
介護老人保健施設なごみのさと 事務次長 小原 秀和 氏	介護老人保健施設なごみのさと 事務次長 小原 秀和 氏
能代山本医師会病院居宅介護支援事業所 管理者 袴田 光樹 氏	能代山本医師会病院居宅介護支援事業所 管理者 袴田 光樹 氏
中通訪問看護ステーション 管理者 鎌田 百合子 氏	中通訪問看護ステーション 管理者 鎌田 百合子 氏
北秋田市社会福祉協議会あいかわ地域福祉センター 所長 松橋 恵子 氏	北秋田市社会福祉協議会あいかわ地域福祉センター 所長 松橋 恵子 氏

平成22年度 介護支援専門員研修（実務従事者基礎研修、専門研修課程Ⅰ・Ⅱ、主任介護支援専門員研修）講師一覧

①実務従事者基礎研修

期 日	ケアマネジメントとそれを担う 介護支援専門員の倫理	対人援助技術	ケアマネジメントのプロセスと その基本的考え方	ケアマネジメント点検演習・研修を振り返っての意見交換、 ネットワーク作り
1組目 7月14日(水) } 17日(土)	(講義) 1組 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員連絡協議会 会長 福本雅治 氏	(講義・演習) 1組・2組共通 ウェルビューいずみ 障害福祉サービスセンター 施設長 佐々木宏幸 氏	(講義) 1組 (株)ぽぽろコンサルティング 代表取締役 石川佐智子 氏 2組 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏	1組 (株)ぽぽろコンサルティング 代表取締役 石川佐智子 氏 主任介護支援専門員 小松京子 氏 特別養護老人ホームよねしろ 施設長 米川 謙 氏 介護老人保健施設なぎさ 相談員 関谷重昭 氏 指定居宅介護支援事業所おおたき 管理者 伊藤政利 氏 羽後町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木尚敏 氏 医療法人玉木歯科医院旭南居宅介護支援センター 管理者 川浪妙子 氏 2組 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏 (株)ぽぽろコンサルティング 代表取締役 石川佐智子 氏 介護老人保健施設なぎさ 相談員 関谷重昭 氏 大仙市地域包括支援センター中央 畑江澄子 氏
2組目 9月21日(火) } 24日(金)	2組 特別養護老人ホーム平成園 施設長 栗林孝得 氏			

②専門研修課程Ⅰ・更新研修前期

期 日	介護保険制度論	ケアマネジメントとそれを担う 介護支援専門員の倫理	ケアマネジメントのプロセス とその基本的考え方	対人個別援助技術 (ソーシャルケースワーク)	選択科目 サービスの活用と連携 訪問介護・訪問入浴	選択科目 サービスの活用と連携 介護保険施設・認知症対応型共同生 活介護・特定施設入居者生活介護
1組 6月10日(木) } 12日(土) 6月22日(火)	(講義) 1組・2組共通 県長寿社会課 介護保険班 担当者	(講義) 1組・2組共通 特別養護老人ホーム ビハーラ横手 施設長 鈴木 卓 氏	(講義) 1組・2組共通 湯沢市複合老人福祉施設 いさみが岡 施設長 赤平京子 氏	(講義・演習) 1組・2組共通 湯沢市複合老人福祉施設 いさみが岡 施設長補佐 阿部 透 氏	(講義) 1組・2組共通 横手市社会福祉協議会 大雄福祉センター指定訪問 介護事業所 管理者 米谷ゆかり 氏	(講義) 1組・2組共通 グループホーム親孝の里 管理者 原田正胤 氏 介護老人保健施設なごみのさと 事務次長 小原秀和 氏
2組 8月25日(水) } 27日(金) 9月16日(木)						

期 日	選択科目 サービスの活用と連携 訪問看護・訪問リハビリテーション (講義)	選択科目 サービスの活用と連携 通所介護・通所リハビリテーション (講義)	保健医療福祉の基礎理解 社会資源活用 (講義)	保健医療福祉の基礎理解 人権尊重及び権利擁護 (講義)	保健医療福祉の基礎理解 高齢者の疾病と対処及び主治医との連携 (講義)
<p>1組 6月23日(水) 24日(木)</p> <p>2組 9月17日(金) 18日(土)</p>	<p>1組・2組共通</p> <p>能代市地域包括支援センター 認定訪問看護師 榎谷誠子 氏</p>	<p>1組・2組共通</p> <p>(株)ぽぽろコンサルティング 代表取締役 石川佐智子 氏</p>	<p>1組・2組共通</p> <p>羽後町高瀬ケアセンター 参事 佐々木生久夫 氏</p>	<p>1組・2組共通</p> <p>秋田県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあ秋田 副委員長 伊藤幹子 氏</p>	<p>1組 小規模多機能型居宅介護事業所 まめでらハウス 管理者 花澤富見子 氏</p> <p>秋田大学大学院医学系研究科医学専攻 病態制御医学系精神科学講座 助教 菅原純哉 氏</p> <p>2組 小規模多機能型居宅介護事業所 まめでらハウス 管理者 花澤富見子 氏</p> <p>秋田大学大学院医学系研究科医学専攻 病態制御医学系精神科学講座 助教 菅原純哉 氏</p> <p>秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 臨床看護学講座 精神看護学分野 助教 猪股祥子 氏</p>

③専門研修課程Ⅱ・更新研修後期

期 日	介護支援専門員の課題①	介護支援専門員の課題②	サービス担当者会議演習	居宅・施設介護支援事例研究
	(事例発表)	(パネルディスカッション)	(講義・演習)	
1組 6月18日(金) 20日(日)	1組 鹿角市社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所 管理者 小田嶋秀子 氏 五城目町社会福祉協議会 五城目居宅介護支援事業所 管理者 田中頼子 氏 いなかわ福祉会 指定居宅介護支援事業所 阿部総雄 氏 2組 居宅介護支援事業所おおたき 介護支援専門員 平澤 陽 氏 ケアプランセンターてんのう 相談担当主任 岩谷淳志 氏	1組 司会者 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 氏 コーディネーター 羽後町高瀬ケアセンター 参事 佐々木生久夫 氏 パネリスト 鹿角市社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所 管理者 小田嶋秀子 氏 五城目町社会福祉協議会 五城目居宅介護支援事業所 管理者 田中頼子 氏 いなかわ福祉会 指定居宅介護支援事業所 阿部総雄 氏 2組 司会者 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 氏 コーディネーター 羽後町高瀬ケアセンター 参事 佐々木生久夫 氏 パネリスト 居宅介護支援事業所おおたき 介護支援専門員 平澤 陽 氏 ケアプランセンターてんのう 相談担当主任 岩谷淳志 氏 横手市社会福祉協議会 十文字福祉センター 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 柴田 司 氏	1組・2組共通 湯沢市複合老人福祉施設 いさみが岡 施設長 赤平京子 氏	1組 (居宅介護支援事例研究) 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 氏 (株)ぼぼろコンサルティング 代表取締役 石川佐智子 氏 羽後町高瀬ケアセンター 参事 佐々木生久夫 氏 (有)よろ津や 取締役副社長 佐藤俊一 氏 東恵園地域生活支援センター センター長 福本雅治 氏 主任介護支援専門員 小松京子 氏 1組 (施設介護支援事例研究) 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏 特別養護老人ホームよねしろ 施設長 米川 譲 氏 2組 (居宅介護支援事例研究) 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 氏 指定居宅介護支援事業所おおたき 管理者 伊藤政利 氏 県厚生農業協同組合連合会 あきた指定居宅介護支援事業所 管理者 小松きよ子 氏 羽後町社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木尚敏 氏 主任介護支援専門員 小松京子 氏 やすらぎの郷 施設長 武田喜代子 氏 能代山本医師会病院居宅介護支援事業所 管理者 袴田光樹 氏 2組 (施設介護支援事例研究) 介護老人保健施設なごみのさと 事務次長 小原秀和 氏 (有)よろ津や 取締役副社長 佐藤俊一 氏
2組 9月 8日(水) 10日(金)	横手市社会福祉協議会 十文字福祉センター 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 柴田 司 氏	横手市社会福祉協議会 十文字福祉センター 居宅介護支援事業所 介護支援専門員 柴田 司 氏		

④主任介護支援専門員研修

期 日	主任介護支援専門員の役割と視点	地域援助技術 (コミュニティソーシャルワーク)	ケアマネジメントと 介護支援専門員の倫理	リスクマネジメント
10月 2日(土) 3日(日) 29日(金)	(講義) 特別養護老人ホーム平成園 施設長 栗林孝得 氏	(講義) 日本社会事業大学社会福祉学部 福祉計画学科 助教 菱沼幹男 氏	(講義) ウェルビューいずみ障害福祉サービスセンター 施設長 佐々木宏幸 氏	(講義) (株)虹の街事業本部お客様相談室兼研修室 室長 加藤麗子 氏

期 日	人事・経営管理の基礎知識	ターミナルケア	事例研究及び事例指導方法	対人援助者監督指導 (スーパービジョン)
10月30日(土) 11月 8日(月) ? 10日(水) 25日(木) ? 27日(土)	(講義) 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏	(講義) 日本赤十字秋田短期大学看護学部 准教授 中村順子 氏	(講義・演習) 特別養護老人ホームビハーク横手 施設長 鈴木 卓 氏 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長補佐 阿部 透 氏	(講義・演習) 特定非営利活動法人ふくし@JMI 理事長 小湊純一 氏